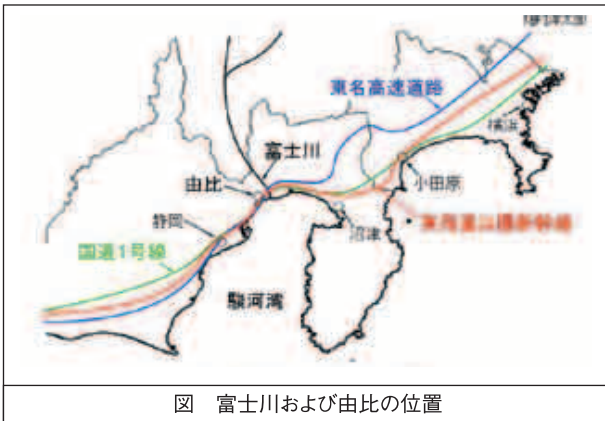
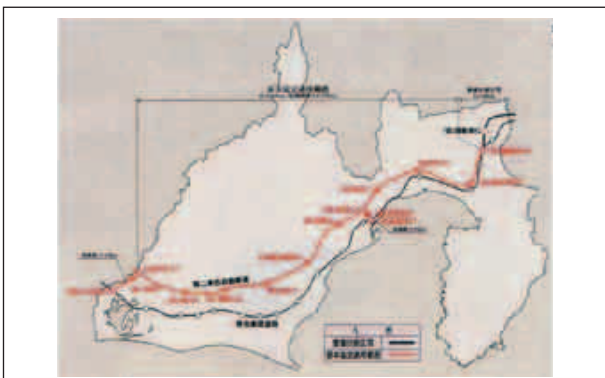


トンネルをぶち抜いてとにかく仮にここが津波そのものにやられても内側で大丈夫なようにと計画してやっているのに、どこがど
ういう予算をつけて、何を言っているのか知らないけれども、の
んびりやっていて、一向に完成しない。僕はそれをいけない事
だと思っています。



これが第二東名のものです。内側に入れてあるでしょう。と
ころが、これ内側に入れたから大変だから、もう本当に橋とトン
ネルの連続です。だから、新聞等にたまたま橋脚だけになってい
て、上のケタのやっていないのがあって、無駄な投資の写真の
典型のように報道されるけど、あれは報道が絶対に間違いです。
早くやれと新聞に書いてほしいと強く思うほどです。何があっ
ても、この第2東名自動車道だけは急がなければいけないと僕
は思っています。



これは富士川のトンネルです。第二東名の富士川のトンネル
です。普通の道路の造り方とだいぶ違って、車線の数を
多くしてやるので、ずいぶん大きなかまぼこ型の断面になって
います。普通とはまるで寸法の違う大きなものです。

これが富士川の橋を造っている所で、とてもおもしろい橋です。
一番上まで縦の柱のところは100メートルあります。エレベーター
に乗せてもらって上まで行ってみたら、さすがに高いなとすぐ
おもしろかったです。両側から突き出してきてドッキングするの
ですが、こういう橋を造るのは、ずいぶん新しい工法でやって
いるから、技術屋としてみるととてもおもしろいものです。

これが由比の所の海です。こちらが東名です、下を通ってい
るのが東海道の国道1号、その脇を東海道本線が通っています。
ですから、ここを津波は必ず襲います。そして、ここをやられた
ら日本中、全然何も動かなくなってしまうのです。この迂回が
今できるのは、中央道の所で恵那山のトンネルの所を通ってい
くもの、あれ1本になるわけです。あれ1本で日本が動くわけはな
いだから、本当に起こったらもう日本は駄目です。でも、本当
に今すぐにやれば、救えるのは第二東名を造ることなのです。



4.産業・都市計画を考えたインフラの整備

産業構造を考えるとずっと変わった事をやらないといけない。
日本の道路も無駄なものをずいぶんやっているし、港湾だって
造り方がゆっくりしているというので、僕にはいろいろな所がそ
う見えます。昔作った計画をそのままやり続けているというのを、